

## 発刊にあたって

全国的に人口減少が進む中、川崎市の人口は増え続け、今年4月には140万人を超えました。駅周辺を中心に魅力ある都市整備を推進してきたことなども人口増加の要因の一つだと思います。

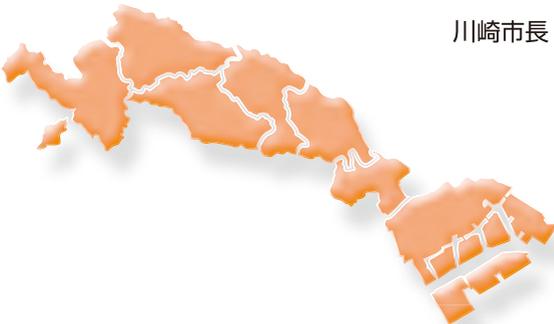
川崎市では社会状況を視野に入れながら、快適に住み続けられる持続可能なまちづくりを進めています。そこで、正確な統計情報は、政策の立案など様々な面において、行政上の基準、諸計画の基礎データとして活用されています。

この「統計データブック」は、「川崎市統計書(平成20年版)」及び「大都市比較統計年表(平成19年)」の中から、市民生活に関係する統計情報を中心に、分野別、体系的に整理し、グラフや解説を加えて分かりやすく編集しています。また、今回は人口140万人を突破したことに関連して特集を掲載しました。

統計を通して、川崎市の推移と現況の正しい理解と認識を深めていただくとともに、本書がより一層、利用者の皆様に幅広くご活用いただければ幸いです。

平成21年(2009年)10月

川崎市長 阿部孝夫



# 平成21年版 川崎市統計データブック 目次

<b>1 特集</b> ～川崎市民140万人を超える～	<b>1</b>	37	交通事故発生状況	46
1 人口のあゆみ	2	38	子ども・学校 保育所の概況	47
2 年齢構成や性比からみる人口	4	39	小学校・中学校の概況	48
3 区ごとにみる人口の推移	5	40	福祉・健康 生活保護の概況	49
4 町丁ごとにみる人口増加の状況	6	41	出生と死亡	50
5 人口に関する統計の大都市比較	8	42	住 居 着工新設住宅戸数	51
		43	建て方別住宅の概況	52
		44	選 挙 選挙	53
<b>2 市政データ</b>	<b>9</b>	45	財 政 市税収入額	54
1 人 口 人口の推移	10	46	財 政 市民要望・評価と定住状況	55
2 区別人口	11		「ちょっと一服」 鉄道駅の乗車人員ランキング	56
3 人口の自然増減と社会増減	12	<b>3 大都市データ</b>	<b>57</b>	
4 年齢別人口	13	1 人口・世帯数及び面積	58	
5 区別昼間流動人口	14	2 人口増加数	58	
6 労働力状態	15	3 年齢別人口	59	
7 外国人登録人口	16	4 就業者数	59	
8 婚姻と離婚	17	5 事業所	60	
9 事業所 産業の構造	18	6 工業	60	
10 区別の民営事業所	19	7 商業	61	
11 資本金階級別企業数	20	8 貿易	61	
12 農業 農業の推移	21	9 住 宅	62	
13 区別の農業概況	22	10 消費者物価地域差指数	62	
14 工業 工業の推移	23	11 市民経済計算	63	
15 区別の工業概況	24	12 治安及び災害	63	
16 業種別の概況	25		「ちょっと一服」 川崎市民の結婚事情	64
17 従業者規模別の概況	26	<b>4 川崎市近隣市区データ</b>	<b>65</b>	
18 商業 商業の推移	27	1 川崎市近隣市区地図	66	
19 卸売業の概況	28	2 データ一覧	67	
20 小売業の概況	29	<b>5 基礎データ</b>	<b>69</b>	
21 区別の卸売業・小売業	30	1 川 崎 市	70	
22 大型小売店の概況	31	2 川 崎 区	71	
23 サービス業 産業別サービス業の概況	32	3 幸 区	71	
24 産 業・生 活 海上出入貨物	33	4 中 原 区	72	
25 卸売市場	34	5 高 津 区	72	
26 賃金・労働時間	35	6 宮 前 区	73	
27 一般雇用保険	36	7 多 摩 区	73	
28 一般職業紹介状況	37	8 麻 生 区	74	
29 経済活動別市内総生産	38			
30 都市生活基盤 水道	39			
31 下水道	40			
32 市バスの運輸状況	41			
33 主要駅の1日平均乗車人員	42			
34 ごみの処理状況	43			
35 犯罪認知件数	44			
36 火災発生件数	45			

## 利用上の注意

統計表中の符号の用法は次のとおりです。

- 「0」 単位未満
- 「―」 皆無又は定義上該当数字がないもの
- 「▲」 マイナス又は比較減を表わす
- 「X」 該当数字はあるが発表をさしひかえたもの
- 「…」 数字が得られないもの